バーナ取扱説明書

注.　この装置には火炎監視装置が取り付いておりません。
　　ご了承の上ご使用ください。

移動式加圧オイルタンク
移動オイルバーナー

取　扱　説　明　書

油調量弁　※1
油の量を調整する弁です

ストレーナ

安全弁
0.15MPaで吹きます

油

エアー

給油

エアー圧調整レギュレータ
※2

エアー入口
コンプレッサエアー200L/min

油圧（タンク圧）調整レギュレータ　※1
ＭＡＸ0.15MPa※0.15MPaで安全弁が吹きます
安全弁が吹かないように注意ください。

加圧タンク

燃焼調整について

※１油量調整
油調量弁及び油圧（タンク圧）調整レギュレータにて調整します

※２エアー圧調整
燃焼状況によって、エアー圧を調整します。

参考

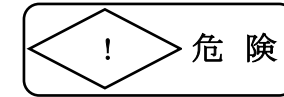
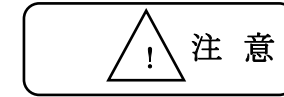
エアー圧力調整	高く ⟷ 低く
油量	多い ⟷ 少ない
油種	Ａ重油 ⟷ 灯油
火炎	良くなる ⟷ 悪くなる
吹き消え	多くなる ⟷ 少なくなる

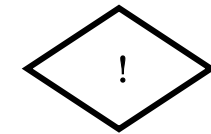
お問い合わせ先

中央技研株式会社
愛知県愛西市本部田町狭場５４－１
ＴＥＬ　０５６７－３１－２０１２
ＦＡＸ　０５６７－３１－２４４９

移動式加圧オイルタンク
移動オイルバーナー

〖安全上のご注意〗

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを次の見出しによって分けています。

取扱を誤った場合に危険な状態が起こりえて、死亡または重症を受ける可能性が想定される場合。

取扱を誤った場合に危険な状態が起こりえて、使用者が軽傷を負うか、又は、物理的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

なお［注意］に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。　いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危　険

１．　運転状態で保守・点検等の作業をしないでください。必ず運転を止めてから作業してください。やけどや感電の恐れがあります。

２．　設置・配管・配線・運転・操作・保守・点検の作業は専門知識のある人が実施してください。感電・けが・火災の恐れがあります。

３．　配管・配線は正しく確実に行ってください。感電・火災の恐れがあります。

４．　この装置には火炎監視装置が取り付いておりません。
ご了承の上ご使用ください。

５．　運転中は絶対にバーナから離れないで下さい。火災の恐れがあります。

注　意

１．　バーナーの周囲には可燃物を絶対に置かないでください。火災の危険があります。

２．　バーナーの周囲には通風を妨げるような障害物を置かないでください。

３．　バーナーの運転中はかなり高温になります。手や体を触れないようにご注意ください。やけどの恐れがあります。

４．　水のかかる場合や、腐食性の雰囲気のそばで使用しないでください。火災、故障発生の原因となります。

５．　バーナー運転中は空気吸込み口のまわりに物を置かないでください。又バーナーのまわり床面はきれいに清掃してください。　物の故障の原因になります。